

参考資料

# キャンプ ファイヤー

北九州市立玄海青年の家

## キャンプファイヤー

### ◎種類 ◆セレモニアルファイヤー

キャンプの始まりや終わりに行う儀式的なファイヤーで営火長の話やグループの代表のことば等があり、儀式として行われる。

### ◆ボンファイヤー

同じグループの者同志がファイヤー（小さなたき火から大きなものまで）を囲み、互いに意見を交換したり、リーダーの話を聞いたり、歌やゲーム・ダンス等を楽しんだりするもの。

この親睦を中心としたファイヤーによってグループの団結を強められる。

- ◎ねらい
- ①キャンプファイヤーは火を囲む友情の輪であり参加者の心を深くゆさぶり、強い印象と感動を与えるつどいとする。
  - ②仲間の一員として自分を見つめ、再認識をし、仲間づきあい・ふれあいの大切さを知るとともに、この感激を今後の生活の中に生かすことを学ぶつどいとする。
  - ③火は厳しさと温かさをもっている。この火を充分に感じるつどいとする。
  - ④集団生活の中での一人として、責任感を強め、協力と友情の精神が養われるつどいとする。

- 参加者に ①火に感謝し、大切に扱うことを知らせる。
- 対して ②ゲームや寸劇で仲間と協力し、自主性や友情を深めることを知らせる。
- ③火を囲む楽しい雰囲気や厳粛さを経験し、思い出をつくることや、まとめとなることを知らせる。

### ◎役割《キャンプファイヤーの組織作り》

| 役 割               | 内 容  | 人 数  |
|-------------------|--|------|
| 営火長<br>(ファイヤーチーフ) | 「火の長」とも呼び、団体の代表者がこれにあたる。営火（キャンプファイヤー）について全責任をもち、参加者の指標として北側・北極星の方向に位置する。 | 大人1名 |

|                                     |  |                         |
|-------------------------------------|--|-------------------------|
| <p>進行係<br/>(エールマスター)<br/>司会者のこと</p> | <p>「火の司」とも呼び、プログラム担当者か経験者がこれにあたる。<br/>     営火の司会・進行をする人で、機知に富み歌やゲームの指導が上手で、参加者の雰囲気を見ながら臨機応変にプログラムを進める。<br/>     参加者のやる気を引き出し火にあわせ全体の雰囲気をつかみもり立てるようにできる人が望ましい。<br/>     又、人数が多いときや他にもレクリエーション技術にたけた人がいれば、複数のプログラムリーダー、補助的指導者(サブリーダー) など活用する</p> | <p>大人 1 名</p>           |
| <p>営火係<br/>(ファイヤーキーパー)</p>          | <p>火の燃え具合によって、全員の気分が左右されるので常に気を配り、進行係と緊密なチームワークをとりつつプログラムを考えながら火を上手に燃やす、陰の演出者。<br/>     営火の経験があり進行係のやり方やプログラムをよく理解している人が適役である。<br/>     1 人は聖火保持者への点火係として場外にいて、もう 1 人は進行係の反対側に位置する。</p>  | <p>大人 2 名</p>           |
| <p>聖火係<br/>(聖火保持者)</p>              | <p>「女神」(あるいは「天狗」となり、聖なる火としてトーチ(たいまつ)を保持し、ファイヤー場に運び、営火長に渡す。<br/>     保持者が一人の場合は女性が多い。選出の方法は自由</p>   | <p>大人又は<br/>子ども 1 名</p> |
| <p>誓詞係<br/>(誓いのことば)</p>             | <p>各班の班長(各組の代表) などが儀式の中で営火長から分火してもらいトーチを掲げて、誓いのことばを述べる役である。<br/>     各自が考えたことばや「規律・協調・友愛・奉仕」の青年の家の四つのことば、あるいは校訓などを入れて点火する。<br/><br/>     ※点火するとき、誓詞係のほかに女神又は営火長が同時におこなってもよい</p>  | <p>子ども<br/>若干名</p>      |

|        |  |            |
|--------|--|------------|
| 献 詞 係  | 営火の終わりの部分で、自己を振り返ったり、意味あるものや締めくくるために、詞の朗読をする役。   | 子ども<br>1名  |
| そ の 他  | 時間に余裕がある場合、班長などから一言、研修で学んだことや身についたことなど短い感想を述べてもらうのもよい。   | 子ども<br>若干名 |
| プログラム係 | 人数が多いときや、他に歌やゲームに長けた人がいるときは複数のプログラムリーダー(サブリーダー)を活用すると、進行の負担を軽くしたり、アクセントや変化を持たせることができる。進行の区切りや、出し物の途中でムードづくりや盛り上げていく役である。 | 大人<br>若干名  |

◎準備 ◆キャンプファイヤーの準備

- ・ 所要時間、参加人員、場所(周辺環境)を考える。下見も必要。
- ・ トーチや火床用薪組の準備。
- ・ キャンプファイヤー場の整備と会場、座席の準備。
- ・ 消火のための用具の準備。プログラムの準備。

◆プログラムの準備

- ・ 各班(各組)の出し物の練習と方向づけ。
- ・ 各班(各組)の出し物の種目を進行係に提出。
- ・ 各担当(係)、役割の打ち合わせとりハーサル。
- ・ セレモニー(迎え火、送り火)のための歌の練習。

- ◎用具 ◆キャンプファイヤーに必要なもの
- ・ 井桁用の薪(予備も)
  - ・ 火つけ用の薪、小枝(薪を割ったものなど)
  - ・ トーチ(木の棒、布、針金)
  - ・ 新聞紙、灯油 (少々)
- ◆準備及び管理の面で必要なもの
- ・ ナタ、ペンチ、スコップ、ほうき、バケツ
  - ・ 軍手、懐中電灯、油缶、マッチ
- ◆運営面や進行上必要なもの
- ・ ハンドスピーカー
  - ・ ワイヤレスマイク (アンプ)
  - ・ 電源ドラム
  - ・ CD や音源、衣装など演出上必要なもの

※300 人を越えるなど、人員が多く全体を把握するための必要なものを適宜準備する。

◎構成 3部形式が一般的である。

1部 ☞ 迎え火のつどい 10分～15分程度  
厳粛な雰囲気の中で

2部 ☞ 交歓のつどい 40分～60分程度  
和やかに楽しく  
班(組)の出し物の数によっては、間にゲームや出し物などを  
入れるのもよい。

3部 ☞ 送り火のつどい 10分程度  
別れのつどいとしてもよい  
静かに、名残惜しみつつ、明日へ向かっての気持を高める。

◇キャンプファイヤーの進め方

研修（合宿）のねらいや雰囲気づくりなど考慮する。

◇点火の仕方

①人によるもの

- ・ 1人の聖火保持者が厳粛な雰囲気の中で入場し点火する。
- ・ 1人の聖火保持者の火から、誓詞係の何人かに分火し、同時に各自が点火する。

② 仕掛けによるもの

- ・ 花火などマジックによる点火。

◇留意点

- ・ あまり形式にとらわれず、団体に工夫しそれぞれ団体にあったものを組み入れて雰囲気づくりをする。
- ・ プログラムは長すぎないこと。興味に引きずられて長引かないよう気をつける。
- ・ プログラムは種々の変化に富んだものにする。組み方も単調にならないように臨機応変に対応できるようにする。
- ・ キャンプファイヤーの火が唯一の火であるようにする。必要以外の懐中電灯や煙草の火は厳禁。

◎プログラムの実際（3部形式の実施例）

エールマスターを中心に

「・」進行役のセリフ

「★」他の係りの動き

| 区分             | プログラム              | 進行係（エールマスター）  | 備考                |
|----------------|--------------------|---|-------------------|
| 第1部<br>迎え火のつどい | 入場・整列              | ・ 日も落ち、だんだんと暗くなってきました。静かに目を閉じて、虫の声、木や草のにおい、そして風を感じとってみてください。では全員で火を迎えましょう。静かに目を開けてください。 | 営火長は前もって定位置についておく |
|                | 1：歌<br>(遠き山に日は落ちて) |   |                   |
|                | 2：聖火保持者入場          | ★保持者は歌と同時に歩き始め入場する。ハミングが終わるころ営火長の前に進めるようゆっくり歩く。一周して営火長に聖火を渡す                            |                   |

|                     |   |  |  |
|---------------------|---|--|--|
| 第1部<br>迎え火のつどい      | 3: 営火長のことば  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聖火が入場しました。営火長のことば。</li> </ul> <p>★営火長のお話<br/>※ことばの例は別紙参照</p>  |  |
|                     | 4: 分 火  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ではこの火を代表の仲間に分けていただきます。代表者は営火長の前に出てください。</li> </ul> <p>★営火長はことばをのべて分火する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聖なる火が分火されました。</li> </ul>   | ※分火をしない場合は営火長が点火                                   |
|                     | 5: 誓いの言葉  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表者は中央に進んでください。ではこの火に誓いをたてましょう。誓いのことば。</li> </ul> <p>★誓詞者は1人ずつ分火されたことばを受けて誓いのことばを述べる。</p>   |  |
|                     | 6: 点 火  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表の仲間から中央の薪に点火してもらいます。点火。</li> </ul> <p>今誓った火が1つの炎となって大きく燃え上がろうとしています。<br/>美しく力強く燃える火私たちの心となって燃える火、火に感謝しながらこの火を囲み気持ちを一つにしましょう</p>   | 又、トーチをそのまま燃やすか後で取り出すか打ち合わせておく<br>トーチを入れる位置を確認させておく |
| 7: 歌<br>(燃えろよ燃えろなど) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気よくみんなで歌いましょう。</li> </ul> <p>エールやテーマソングなどを入れて第2部の導入を盛り上げる</p> |  |  |
| 第2部<br>親睦の集い        | 導 入   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さあ、みんなが心一つになるために〇〇をやりたいと思います。</li> </ul> <p>★各班(各組)のスタンプや、ゲーム・ソング・ダンスなどを入れながらもりあげていく。</p> <p>★進行は・・・</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①1～3部まで同じ人がやる方法</li> <li>②1部と3部を同じ人がやり、2部は変わる方法</li> <li>③2部をそれぞれ分担してスタンプの指導をする方法・・・がある。</li> </ol> |  |

|                |                                    |  |                                   |
|----------------|------------------------------------|--|-----------------------------------|
| 第3部<br>送り火のつどい | 終 盤                                | ・明るく燃えていた炎もだんだんと小さくなってきました。皆さん、静かに立ちましょう。  |                                   |
|                | 導 入                                | ・皆で確かめあった友情、協力することの大切さを知った第2部も終わりです。<br>これから静かに一人一人の心の中でふれあいや人をいたわることの意味をもう一度考えてみましょう。 | 研修(合宿)期間<br>に誕生日にあたる人がいれば皆で祝ってもよい |
|                | 1: 歌                               | ★テーマソングなどをいれてもよい。  |                                   |
|                | 2: 献 詞                             | ・ここで詞を読んでもらいましょう。  | 営火長に変わってエールマスターのことばとしてもよい         |
|                | 3: 営火長の<br>ことば                     | ・つどいの終わりにあたり営火長からお言葉をいただきます。   |                                   |
|                | 4: 歌                               | ★終わりにふさわしい歌や演出とする。   | ※1部でトーチを燃やした時は新たに準備する             |
|                | 5: 営火長<br>採火                       | ・皆さんの心の中に焼きついたこの火を送りたいと思います。営火長はトーチに火を採り女神に渡してください。                                    |                                   |
|                | 6: 聖火・<br>営火長退場<br>(営火長は定位置にいてもよい) | ・聖火ならびに営火長が退場します。<br>★時間によっては5・6を省略してもよい。  |                                   |
| 7: 全員退場        | ★スタッフは並んで見送りをしてもよい                 |  |                                   |
| 8: 後片付け        |                                    |  |                                   |